

JAしまねびより



2023

1

January
Vol.82



特集

未来へつなぐ
島根の農業

みーつけた
しまねのファーマーズ
Shimane farmers
烏田 正輝さん
[島根おおち地区本部]

SNSで
旬な情報を
投稿して
います



節電のため、
ウォームビズ
(私服勤務)を
実施しております

謹賀新年

初春の

お慶びを

申し上げます

代表理事組合長 石川 寿樹

代表理事副組合長 山根 盛治

代表理事専務 日高 光弘

代表 監 事 黒谷 幹雄

役職員一同

2023



代表理事組合長

石川 寿樹

新年あけましておめでとうござい
ます。謹んで新春のごあいさつを申し上げ
ます。令和5年の年頭にあたり、組合員
の皆様から旧年中に賜りましたご支援、
ご協力に対し、厚くお礼を申し上げます。

昨年は、6月に役員改選があり、理事
23名、監事6名が新任となり、私も引き
続き代表理事組合長に就任いたしました。
新たな役員体制のもと、協同組合の
原点である、人と人とのつながりを大切
にしながら、組合員の皆様のために更な
る努力を重ねて参ります。

さて、新型コロナウイルスの感染拡大
から丸3年が経過しようとしています
が、未だ収束の兆しは見えません。加え
て、ロシアによるウクライナ侵攻、急激
な円安など、農業や地域社会を取り巻く
環境は厳しさを増し、特に燃油や飼料・
肥料などの生産資材の高騰により、農家
経営は厳しい状況に置かれています。

こうした中、JAとして少しでも農家
の皆様のお力になるため、飼料・肥料高
騰支援対策事業や酪農経営緊急支援事業
などを実施しました。また、各地区本部
では、営農担当者が国の肥料価格高騰対
策事業の申請支援を行い、これまでに約
600件の申請を受け付けました。今後
も役員総力をあげて農家支援に取り組
んで参ります。

一方で、営農部門では非常に明るい
ニュースがありました。昨年10月、鹿児
島県で第12回全国和牛能力共進会が開催
され、島根県代表牛が6区（総合評価群）
の「肉牛の部」において日本一となり、総
合評価でも優等賞三席という素晴らしい
評価を得ることができました。また、7
区（脂肪の質評価群）や8区（去勢肥育牛）
でも優等賞二席に輝くなど、しまね和牛
が躍進した大会となりました。和牛農家
はもとより、関係者の皆様のこれまでの
ご努力に感謝と敬意を表するとともに、
4年後の北海道全共に向けて、今後は「種
牛の部」のレベルアップを図り、名実とも
に日本一の和牛産地を目指して参ります。
事業運営につきましては、令和4年9
月末中間決算において計画を上回る成果

を上げることができましたが、前年度対
比では、信用・共済事業の収益が大幅に
減少しております。こうした中で、我々
JAの使命である農業振興を進めていく
ためには、引き続き事業改革に取り組ん
でいかなければなりません。

営農経済事業につきましては、農機事
業県域会社の設立準備、営農指導や生産
資材事業の体制見直し、自動車燃料事業
の県域会社化に向けた検討などを進めて
参ります。また、肥育事業につきまして
は、行政機関、生産者の皆様と十分な協
議を行い、新たな運営体制を構築して参
ります。

加えて、今後の農業の新しい流れとし
て、農林水産省が示した「みどりの食料
システム戦略」への対応も重要であり、
有機農業の拡大や化学肥料・化学農薬の
削減を目指して、行政機関と連携して取
り組んで参ります。

結びに、組合員の皆様、地域の皆様
にとりまして、本年が実り多く、健康で明
るい年となりますようお祈り申し上げ、
年頭の挨拶とさせていただきます。

本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げ
ます。



中山間地の農業と暮らしを守る

邑智郡美郷町は島根県のほぼ中央にある山あいの町。水稲を中心に、そば、ミニトマト、菌床シイタケなどが生産されている中、白ねぎも盛んに栽培されている作物の一つです。島根おちち地区本部管内は、白ねぎ栽培に約30年の実績があり、作付け面積は県内最大の約11・5ha。県内の白ねぎ産地のリーダーとして牽引しています。

美郷町久保にある「ファームサポート美郷」は、後継者不足で離農が加速する中山間地の農地管理・活用を目的に2018年に設立されました。集落営農組合がカバーできない遊休地を借り受け、白ねぎだけでなく、玉ねぎ、そば、キャベツのほか多様な作物を栽培。次世代の育成にも注力し、新規就農を希望する地域おこし協力隊

からすだ
鳥田 まさてる
正輝さん(65才)

今月は島根おちち地区本部。邑智郡美郷町で白ねぎの生産に取り組む一般社団法人ファームサポート美郷の理事、鳥田正輝さんにお話を伺いました。

や、技能実習生を受け入れるなど、地域の農業と食、農村の維持と発展に貢献しています。以前は同町の職員として設立に携わっていた鳥田さん。現在は同町の会計年度職員と、法人の理事として活躍されています。

年末から年始にかけてが出荷シーズン

11月から1月にかけては白ねぎの収穫・出荷の最盛期。霜が降りる日は収穫作業ができませんが、寒さが増すこの時期、冷え込むほどに糖度がグッと上がり、濃く深い甘みの白ねぎになるのだとか。採れたては水分たっぷり、爽やかな甘い香りが出荷場



白ねぎを収穫する鳥田さん



に広がります。

ファームサポート美郷で栽培している品種は「項羽一本太」「関羽一本太」「ホワイトスター」など。中でも2022年度から導入した「項羽一本太」は、形が美しく、緑と白のコントラストが鮮やか。病気にも比較的強く育てやすい点もポイントです。「よく育ち、一大産地に引けを取りません。来年度も期待しています」と鳥田さんは満足の笑顔を見せてくれました。



作業と時間を丁寧に重ね、甘く太いネギを育む

「白ねぎは栽培期間が1年近くあり、手が掛かる作物です」と鳥田さん。特に手間がかかるのがネギ

に土をかぶせて盛る「土寄せ」。定植から収穫期まで何度も行います。青々と伸びたネギに土寄せをすると、土中の部分が1ヶ月ほどかけて白く太く育っていきます。JAしまねの白ねぎの規格は軟白30cm。他産地より、さらに高く土寄せをする必要があります。鳥田さんたちは品質の高い白ねぎを育てるための気遣いを欠かしません。



出荷作業をするスタッフ

除草作業も春から秋まで絶え間なく続きます。圃場内には除草剤が使えず、みんなで除草作業をしなければいけない箇所もあります。人手不足で雑草の生育に作業が追いつかず、収穫を諦めざるを得ないエリアが発生したこともあったそうです。「防除も大変です。葉が水分を弾くので、上から散布するだけではダメ。一本一本包み込むように薬剤をかけてやらないといけません。専用の機械を導入したのでかなり楽になりましたが…」と苦勞を語りますが、その分収穫期の感慨はひとしおだそうです。

技能実習生との交流が息抜きに

美郷町はインドネシアのバリ島にあるマス村と友好姉妹都市協定を結んでいます。鳥田さんは以前か

ら町の職員として交流事業に参加し、インドネシア語が堪能。バリ島出身の技能実習生たちとのコミュニケーションもスムーズで、笑顔で会話が弾みます。そんな鳥田さんはインドネシア料理が大好物。実習生が時々ごちそうしてくれる本場の味を楽しみにしているそうです。「バビグリンという豚の丸焼き料理を作りたいと言われたので、小さめのイノシシを手に入れて一緒にチャレンジしようと思っています」と鳥田さん。楽しい交流は現場の活気にもつながっているようです。



適切な作付け面積で持続可能な生産を

今後の課題は生産量の調整と話す鳥田さん。「今の人員で可能な出荷作業のキャパシティに合い、かつ効率よく単価が高いものを作れる最適な面積が、4〜5年栽培してようやく見えてきました」と話します。一方で、地域からの農地活用のニーズは高まっているので、そばなど他の作物とバランスをとりながら、持続可能な農業を模索していきたいそうです。農地を守り、住民の暮らしを支えていくため、頼もしい仲間とともに鳥田さんの挑戦は続きます。



白ねぎ

鳥田さん一押しの白ねぎ料理は天ぷら。ぶつ切りにし薄衣をつけてサッと揚げると、ジューシーに仕上がります。👉手軽に食べたい時はグリルでの素焼きが



オススメ! こんがりとし焦げ目がつくまで焼くと中がトロトロに。軽く塩を振ると甘味が引き立つのだとか…👉

また12月3日には、鳥根おおち白ねぎ部会が広島県で試食宣伝販売を実施し、白ねぎの天ぷらを試食してもらおうなど、部会としてPRにも力を入れています!

鳥根おおち地区本部の白ねぎを購入するには「愛菜の郷」マークが目印👉ぜひ探してみてくださいね👉



鳥田さん（右から2人目）と頼もしいスタッフの皆さん

島根の農業



ると言われています✧

災害…など厳しい環境の中でも、島根の農業を未来へつなぐため、
を1月・2月号の2回にかけてご紹介します😊

松江市福富町でイチゴを栽培している野津喜洋さん（40）。過去にはJ A
しまねくにびき青年連盟で委員長を務めていた経歴をもち、昨年からくにび
き産直出荷者協議会の会長を務めています。

野津さんの地産地消への取り組みの一つが、約15年前から取り組む地元
小学校の学校給食への食材提供です。現在も青年連盟で継続的に行い、年に
一度給食の時間に招かれ、栽培の苦労話や子どもたちの質問に答える「イチ
ゴの授業」も実施しています。

授業後、給食に出たイチゴを食べた子どもが「イチゴはあまり好きではな
かったけど、このイチゴなら食べられる。おいしい」と言ってくれたとうれ
しそうに話しました。

メディアへの出演などさまざまな場面で活躍され、11月下旬に行われた
食品ロスについて考えるシンポジウムに生産者の立場で出席。消費者や事業
者と議論を交わしました。野津さんは「生産者の顔が見えること、栽培過程
をきちんと説明することが地産地消につながる。生産者としても消費者の需
要を見極めて生産していきたい」と出席者に向け熱く語りました。

くにびき地区本部 野津喜洋さん



イチゴの授業を行う
野津さん

雲南地区本部

農事組合法人 槻之屋ヒーリング



槻之屋ヒーリングの皆さん。収穫体験などさまざまな活動にも取り組む

雲南市木次町で水稻を約10ha、ハウス6棟と約2haの
畑で約90品種の野菜を栽培する農事組合法人槻之屋ヒー
リング。同法人の斎藤文隆代表はNPO法人ふる里雲南
の代表を兼任し「道の駅おろちの里」も運営しています。

地域や農産物の魅力を広くPRしようと、道の駅内には
同法人や近隣農家が生産した新鮮な野菜や加工品を販
売する産直市、それらを使用した料理が味わえる農家レ
ストランを併設し、地産地消の一貫した取り組みを進め
ています。

県内外の観光客から人気を集めるレストラン。料理に
使われた農産物は、産直市で購入でき、多くの客が立ち
寄り相乗効果をもたらしています。

また、斎藤代表や同法人スタッフ2人は狩猟免許を持
ち、野生鳥獣による農作物への被害軽減にも努めていま
す。捕獲したイノシシは同地区内にあるジビエの加工場
「KANUKA PARK」でソーセージなどに加工し、農家
レストランで提供するほか、産直市でも販売しています。

斎藤代表は「地域資源を有効活用し、地域の繋がりを
大切にしながら地域の特徴を生かした良い循環を作りたい
」と意気込みを話しました。

に近い島、知夫里島で古民家の民
家庭菜園で収穫したバジルでジェ
ス。

毎年工夫を重ねながら徐々に腕を
は、バジル苗がたくさん育ったた
出荷したがほとんど売れなかった
ソースとして売り出したところ思

紫蘇ジュースなども出荷していま
人に季節を味わう楽しみを届けた



ジェノベーゼソースを
手にする矢田さん

隠岐どうぜん地区本部 矢田百合子さん



未来へつなぐ



新年あけましておめでとうございます。

2023年は卯年🐰うさぎは跳ねることから「飛躍」などを意味するそんな今年1発目の特集は、生産資材の価格高騰、多発する自然
地元で地元の食材を使って「地産地消」の活動に取り組む皆さん

石見銀山地区本部

J Aしまね 石見銀山女性部



提供するフキの皮をむく女性部員ら

学校給食の地産地消率の向上を目指し、大田市学校給食センターの地産地消コーディネーターと協力し2015年から食材を提供するJ Aしまね石見銀山女性部。地元の旬の食材を子どもたちにおいしく食べてもらい、地元大田市に愛着を感じてもらうためにと取り組みを続けています。

女性部内にフキ会、カボチャ会、サトイモ会の分会を作り、部員が作付けや収穫を行います。5月には持ち寄ったフキ60~100kgを茹でて皮をむき、12月には皮をむいて一口大に切ったサトイモ70kgを提供。カボチャはJ A経由で500kgを随時提供しました。食材は「大田のふきd eおなかすっきり煮しめ」「大田の里芋入り赤だし味噌汁」などと命名され給食の献立になっています。

フキの皮むきなど大変な作業を済ませて提供するため、同給食センターからはありがたいと好評を得ています。同女性部の森脇岸江部長は「次世代農業を担う若者へ思いが繋がればうれしい」と話しました。

美郷町立邑智小学校1、3年生、おおち保育園の年長を対象にしたサツマイモと白ネギ栽培で交流を深めるJ Aしまね島根おおち青年連盟邑智支部。野菜を育て収穫する喜びや協同の心、食べ物を大切に作る心などを育むことを目的に実施しています。

サツマイモ栽培は2015年に園児と、翌年に教育委員会、小学校と連携し1年生と合同で始めました。烏田裕一支部長のほ場で1年生が年長時に経験したことを園児に教えながら定植・収穫し、校庭で焼きいもを味わって、残ったサツマイモは子どもたちに自分たちが作った物が売れるという喜びを感じてもらうために地元のAコープや産直市へ出荷します。

3年生とは、県とJ Aが推進する白ネギを栽培し十数年が経ちました。校庭の畑でグループごとに栽培し、部員が定期的に訪問・指導。児童は自主的に除草や追肥、土寄せし、他の区画より良い白ネギを作ろうと切磋琢磨します。収穫後は出荷調製作業も体験。学校給食への提供や家庭に持ち帰ってもらい、家族で農業への理解と親しみを持ってもらいます。

烏田支部長は「この活動が心に残り、将来一人でも多く就農し、農業に携わる仕事に就いてもらえれば」と期待を込めました。

島根おおち地区本部

J Aしまね 島根おおち青年連盟邑智支部



順番に焚き火へサツマイモを投げ入れる子どもたち

島根半島の沖合に浮かぶ隠岐諸島の中で最も小さく本土宿を経営する矢田百合子さん。地産地消の取り組みとして、ノベーゼソースを作り、J A直売コーナーへ出荷しています。

矢田さんは、以前から収穫したバジルでソースを作り、上げ、ひそかに楽しんでいました。商品化したきっかけ「多くの人に栽培してほしい」と、苗を直売コーナーにこと。その後、悔しさもあり、自信のあったジェノベーゼのほか評判が良く、数多くの販売につながりました。

ソースの他にも、少量ではあるが季節の果実ジャムやす。趣味と実益を兼ねて出荷を楽しむ矢田さんは「地域の」と笑顔で話しました。





新年のごあいさつ

J Aしまね女性部

部長 高橋美佐子



新年あけましておめでとうございます。

日頃より女性部の活動に対しご理解とご協力をいただき心よりお礼申し上げます。

さて昨年を振り返りますと、ロシアによるウクライナ侵攻によって世界経済は不安定さを増し、新型コロナウイルスも一旦は落ち着きをみせたものの、未だ収束の兆しが見えておらず、私たちも活動の制限を余儀なくされました。

そのような中ではありましたが、島根県JA女性組織結成七十周年の節目の年を迎え、記念式典を開催することができました。無事七十周年を迎えられましたのも、関係機関の皆様、また諸先輩方の皆様のご尽力があったからと心より感謝申し上げます。

また、3ヵ年計画「JA女性 想いをひとつに かなえよう🍀」の初年度として、「つながろう🍀」「まもろう🍀」「かかわろう🍀」の3つの具体的な目標を掲げ、私たちの活動はSDGsそのものという想いのもと、様々な活動に取り組んでまいりました。なかでも「まもろう🍀」として、今年度で3回目となる「米一握り運動」を実施し、JAしまねや島根県農協青年組織協議会にもご協力いただきながら、県内の子ども食堂・フードバンク事業者等にたくさんのお米を寄贈することができました。ご協力いただいた多くの皆様に感謝申し上げます。

最後になりましたが、今年もJAをよりどころとした「協同の力」を発揮し、魅力的な地域づくり、仲間づくり運動を実践していきます。引き続き私達女性部が変わらぬご指導、ご協力をお願いすると共に皆様のご健康とご多幸をご祈念申し上げまして新年のご挨拶とさせていただきます。



新年のごあいさつ

島根県農協青年組織協議会

会長 草野 拓志



新年あけましておめでとうございます！

日頃より島根県青協の活動に対しご理解ご協力賜わりまして、誠にありがとうございます。

昨年を振り返りますと、新型コロナウイルスによる行動制限が緩和されてきたものの、円安による輸入物価高、燃料や肥料、飼料といった生産資材の高騰により農業を取り巻く環境は非常に厳しいものとなりました。また、玉ねぎやシャインマスカットの過去類を見ない値上がりや、和牛オリンピックで島根県代表牛が6区（総合評価群）肉牛の部で一位に輝いたこと、畜産は飼料代の高騰で営農が非常に困難な状況なことなど、禍福は糾える縄の如しと言うように良い事も悪い事も一気に押し寄せたような一年でした。

島根県青協として何ができるのかと考えさせられた中で、米価の安定や収入を向上させるにはどうすべきか、資材費高騰への手立てをしてもらえないか、島根県やJA役員との意見交換、県選出の国会議員への陳情を行ってまいりました。

農業者として食を支え農地を守り引き継いでいくためにも、営農活動を続けていくことが一番大事であり、JAや島根県農政と一体となって農業者を支援していくことが非常に大切です。私は本年が会長として4年目の締めくくりとなりますが、島根県青協として少しでもその架け橋となり、島根県の農業振興のため本年も尽力する所存でございます。

本年が皆様にとって実り多き一年でありますことをご祈願いたしまして新年の挨拶とさせていただきます。

島根県産米消費拡大キャンペーン実施中!!

期間

2023年3月19日(日)まで

一杯でも多くのご飯を県民の皆様に食べていただき、島根の食を支える農家の皆さんを応援していただけるよう、JAしまねは、島根県が実施する消費拡大キャンペーンに協力しています。詳細はこちらからご確認ください。

やっぱり、島根米

または
こちらから



【キャンペーン内容】

＼お値段そのまま／ ＼家計も応援／ 島根米20%増量販売!

通常の精米袋商品より内容を2割増量した商品を製造し、増量前の商品と同等の価格で販売します。
※商品がなくなり次第終了

【販売先】

県内Aコープ全店舗、ラピタ、斐川グリーンセンター、JAグリーンおおだ、道の駅サンピコごうつの他、県内各スーパー等で実施中!

【島根県の代表的なお米】



コシヒカリ



きぬむすめ



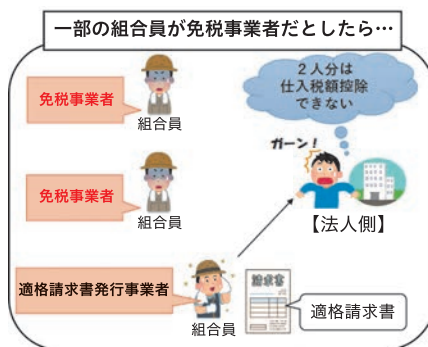
つや姫

＼20%増量商品です！



Q 農事組合法人（従事分量配当制）は、組合員へ労働対価として「従事分量配当」を支払っています。この「従事分量配当」に係る消費税は仕入税額控除をすることができますが、インボイス制度が始まると注意する点を教えてください。

A インボイス制度が始まると、法人側が「従事分量配当」を仕入税額控除するためには、従事分量配当を受け取る組合員側が法人に対して「適格請求書」を交付しなければいけません（※インボイス制度導入後から6年間、免税事業者からの課税仕入れについて経過措置あり）。



これまで「従事分量配当」に係る消費税を仕入税額控除できなかったが、農事組合法人の税務上の最大のメリットでした。

インボイス制度が始まると、組合員が適格請求書発行事業者でない場合、法人側の税務上のメリットがなくなってしまいます。



【協議事項】

- ① J Aしまねと「国立大学法人島根大学」との包括連携協定の締結について
- ② 島根県、楽天農業(株)、楽天グループ(株)、JAしまねの連携協定の締結について
- ③ 令和5年産島根米生産に係る考え方について（品種別作付計画）
- ④ 自動車燃料事業の会社化について
- ⑤ 「令和4年度飼料・肥料高騰支援対策事業要項」の変更について
- ⑥ 店舗機能の見直しにかかる機構改革の実施について
- ⑦ 令和4年度末決算見込（一次）について
- ⑧ 中間期ディスクロージャー誌2022について
- ⑨ 債権償却および延滞利息・遅延損害金免除について
- ⑩ 個人情報保護統括管理者の選任について

新年のごあいさつ



常務理事本部長 佐々木 豊

新年あけましておめでとうございます。
組合員・地域の皆様におかれましては、新しい年を穏やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の収束が見えず、何かと社会生活に影響を及ぼす中、無事新たな年を迎えることができましたのも、感染拡大防止にご尽力いただいている医療従事者の皆様や生活を支えていただいている皆様をはじめ、組合員・地域の皆様のご理解とご協力の賜物とお礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、営農面ではウクライナ情勢をはじめ急激な円安などにより特に燃油や飼料・肥料などの生産資材の高騰が農業経営逼迫に拍車をかけるなかで、JAとして少しでも農家の皆さんの力になるべく独自の支援策の実施などに取り組みました。

十月には平成十四年にオープンした「きんさい市場黒川店」が二十周年を迎えさせてい

いただきました。丹精込めて栽培し出荷いただいている産直会員の皆様、日々「きんさい市場」をご利用いただいている消費者の皆様、運営・栽培指導等にご協力をいただいている県・市をはじめ関係者の皆様に心からお礼を申し上げます。これからも新鮮で安心してご利用いただける産直店舗づくり、地域の農業振興に努力してまいります。

さて、コロナ禍による環境の変化はもとより、少子高齢化による市場基盤の縮小、マイナス金利政策の影響が顕著となりJAの経営基盤を揺るがしており、我々のなすべき農業振興等を進めていくためには、事業改革等に取り組み健全な運営を行わなければなりません。

当地区本部におきましては、昨年座談会等にてご説明させていただいた改革をいよいよ本年二月二十七日より実施いたします。支店機能の見直しによる店舗内店舗（ブ

ランチインブランチ）により五支店・二事業所・三ふれあい店体制に、三月一日より六営業経済センターを「あぐり中央」「あぐり南」の二拠点に、現五事業所をATM店舗へとさせていただきます。組合員・利用者の皆様には大変ご迷惑をおかけいたしますが、取次、渉外活動により対応させていただきますのでご理解賜りますようお願い申し上げます。

持続可能な農業・地域との共生の未来づくりや、組合員の皆様の負託に応えるために、不断の自己改革並びに事業改革を進め「持続可能な農業の実現」「豊かで暮らしやすい地域社会の実現」「協同組合としての役割発揮」を運動の柱として、役員員一丸となって健全経営を行い、地域に根差したJAとして協同組合運動を展開してまいりますので、一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。

結びに組合員の皆様、地域の皆様にとりまして、本年が健康で明るく実りの多い年でありますようお願い申し上げます。本年もどうぞよろしくお祈り申し上げます。



第44回 みどりをまもる作文コンクール

金賞おめでとうございます！

このコンクールは昭和54年から始まり、今年度で44回を迎えました。

今年は県内28校110名の応募があり、子どもたちが農業体験や、家族・地域の方々とのふれあいを通じて、気づいたことや感じたことが感性豊かに綴られています。

今回管内より2名の方が金賞に入賞されました。ご協力いただきました小学校の先生方に心よりお礼申し上げます。



きれいな花

浜田市立波佐小学校

一年 岡田 瑛士

きれいな花
ぼくのいえでは、お花をたくさん
そだてています。サイネリア、ベゴ
ニア、パンジーなどです。だから、
いつもお花がいっぱいいます。おばあ
ちゃんも、いつもじょうずにそだて
ています。それを、小学校にとどけてく
れて、ぼくが入学したときにもかざ
ってありました。すごくきれいでうれし
かったです。

ぼくのクラスでは、あさがおとひまわりをそだてました。あさがおは、スイカのようなかたちをした小さなくらいな花でした。

「こんなに小さいのに、ちゃんと花がさくのかな?。」としばいになりまして。でもたねをまいてから三日たったとき、小さいめがでていました。ぼくはうれしくて、「やったー。」

といいました。それから、どんどん大きくなって、はっぱも大きなスピードのかたちになって、小さなつぼみができました。そして、花がさきました。あかむらさきやおむらさきの花が、たくさんさきました。一日に五つくらいさいているときもありました。あさ、おきてあさがおをみると、げんきになりました。

ひまわりも、ほそながいたねから、はっぱがでてきて、きいろくて、たいようみたいな花がさきました。

ぜんこうでは「人けんの花」をそだてています。ニチニチソウやヒヤクニチソウ、マリーゴールド、ホウセンカなど、たくさんしゅるいの花をそだてています。しょうこうぐちのところにかざってあると、とてもきれいです。花はしょうこうぐちで、

「しょうこうぐち」

とあいさつしているみたいです。たくさんのお花をみると、ぼくもげんきになります。

これからも花をたくさんそだてたいです。



おいしいお米のひみつ

浜田市立今福小学校

二年 大野 哲平

おいしいお米のひみつ
その時の、ごはんのあじとみんなのえ顔は、せかいで一番だと、ぼくは思っています。

ぼくの家には、田んぼがあつて、お父さんとおばあちゃんがお米を作っています。ぼくのお家の田んぼは、お父さんたちだけで米作りができていくわけではありません。

ぼくのすんでいるちいきには、みんなできよう力して米作りをする「えいのう組合」というのがあつて、あらおこし、しろかき、田んぼ、しょうごく作ぎようなど、みんなできよう力して、おたがいの田んぼのおせわをします。いのしがでてお父さんたちがこまっている時には、朝早くから、よるおそくまで、どうぶつが入らないように、いっしょに手つだつてくれた人もいます。どうして、みんな、自分の田んぼのことだけでなく、ほかの人の田んぼまでお手つだいでできるのだろうと、ふしぎに思ったことがあつて、でも、お父さんに聞いたら、

「みんな、このちいき全体の米作りのことを考えておられるからだよ。一人ではできないことも、みんなを力を合わせればできることもあつて。お父さんも、みんなにたすけてもらっているんだよ。」と、教えてくれました。自分のことだけでなく、みんなのこと、ちいきのことを考えてがんばっている人たちが、ぼくのすんでいるところには、たくさんおられる。そう考えると、何だかとてもうれしい気持ちになります。

家ぞくだけでなく、みんなですけあつてきたお米。ぼくのお家でお米は、あじようたつぷり、やさしさたつぷり、えがおたつぷり、さいこうのお米です。



2023年1月号

え~のう ちよっと宮農!! 新年明けましておめでとうございます。

2023年（令和5年）は卯（うさぎ）年です。動物にあてはめると兔になります。植物の例えとして、万物が茂ることとされていますが、うさぎは跳ねる動物であることから農作物が跳ね上がるほどの豊作という意味として、兔（うさぎ）が割り当てられたとされています。

穏やかで何をやっても跳ね上がるという意味も持っています。

新しいことを始める年にも最適だとされるのが、うさぎ年です。今年は色々と挑戦をしてみてください。新年の営農クイズ皆さんわかるかな。【※答えは17ページに掲載】



1 苦みの少ないピーマンもあります。ヘタの形はどれでしょうか？

- ① 5角形の形のヘタ
- ② 6角形の形のヘタ
- ③ 4角形の形のヘタ



6 子カブ品種の収穫時期はどのくらいが適当か？

- ① 直径3～4cm
- ② 直径5～6cm
- ③ 直径10cm程度



2 カボチャで「カロテン」が最も含まれている場所は？

- ① 実の部分
- ② ヘタの部分
- ③ 皮の部分



7 畝の役割の1つとして適切なものは？

- ① 風をさえぎる
- ② 保水性を高める
- ③ 通気性を高める
- ④ 保肥性を高める



3 美肌に向いている野菜はどれでしょうか？

- ① セロリ
- ② キャベツ
- ③ ほうれん草



8 レンコンの穴はどうして開いているのでしょうか？

- ① 空気を通すため
- ② 水分を運ぶため
- ③ 泥を出すため



4 春の七草のひとつ「すずな」は次のどの野菜か？

- ① セリ
- ② ナバナ
- ③ カブ



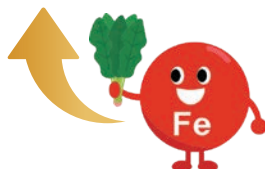
9 種の発芽に必ずしも必要のないものはどれでしょうか？

- ① 光
- ② 温度
- ③ 水
- ④ 酸素



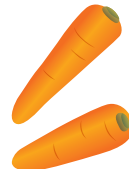
5 ほうれん草の3倍以上の鉄分が含まれている野菜はどれ？

- ① パセリ
- ② ブロccoli
- ③ ピーマン



10 にんじんはどんな症状に最も効果が期待されるでしょうか？

- ① 虫歯
- ② 眼精疲労
- ③ 骨折





西部農林水産振興センターからのお知らせ

農作業安全対策とGAP

“ヒヤリ・ハット”の経験はありませんか？

トラクターでほ場に入場した時にバランスが崩れて転倒しそうになった、刃物を持ったまま滑って転げそうになった…大きな事故にはならなかったものの、ヒヤリと感じたこと、ハットしたことはありませんか。そうした“ヒヤリ・ハット”は、農作業中だけでなく日常生活の中でも感じる人が多いのではないのでしょうか。

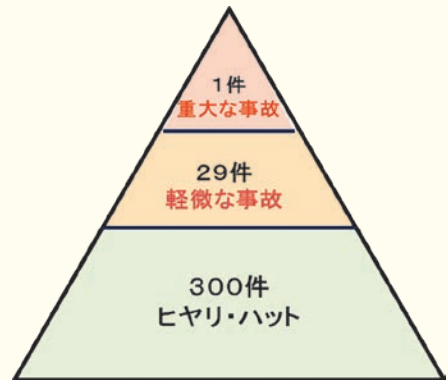
労働災害における経験則の1つに「ハインリッヒの法則」があります。1つの重大事故の背後には29の軽微な事故があり、その背景には300の異常（ヒヤリ・ハット）が存在するという考え方です。重大事故を未然に防ぐためには、日頃からの小さなミスやヒヤリ・ハットを防ぐことが大切です。多忙な作業シーズンが一段落し、来期に向けた作付け計画の見直しや資材の発注をされる方も多い今の時期。今シーズン感じた“ヒヤリ・ハット”を振りかえり、来シーズンに同じことが起こらないように対策を検討・実施しませんか。

対策例（トラクターでほ場に入場する時の事故防止）



進入注意

- ・安全フレーム、安全キャブの装備
- ・シートベルト、ヘルメット装着
- ・左右のブレーキペダルの連結
- ・速度を出しすぎない
- ・進入路の確認
- ・危険箇所の注意喚起（看板）など



ハインリッヒの法則
Herbert William Heinrich (1886年～1962年)

GAP（Good Agricultural Practice：農業生産工程管理）とは

GAPとは食品安全、環境保全、労働安全等の観点から、生産・出荷工程において、事前に危害を及ぼす要因を検討し、未然防止のための管理手順、点検項目を定め、これに沿って農業生産の実施、記録、点検、評価を繰り返して行う一連の取組のことです。

上記の“ヒヤリ・ハット”の振り返りもGAPの取組の一部であり、危険な作業や場所等を洗い出して事前に対策を行うことが農作業事故のリスク低減に繋がります。

そのほか、GAPの取組を通じて、食品事故のリスク低減、資材の在庫管理による生産コスト削減、農場ルールの設定による作業環境の改善等、様々な農業経営の改善が期待されます。

島根県版GAP“美味しまね認証（安全で美味しい島根の県産品認証制度）”とは

美味しまね認証は、産品が県の定めたGAP基準に基づき生産されていることを認証する県のGAP認証制度です。この基準をクリアし認証を受けた産品は認証マークの表示ができます。

認証の取得方法や認証農場の一覧等は美味しまね認証ホームページに掲載されていますので、ぜひご覧ください。



美味しまね認証ホームページ <http://www.oishimane.com/>

《問合せ先》 島根県西部農林水産振興センター農業振興部 TEL:0855-29-5615

事業拠点再構築のお知らせ①

平素より J A しまねの各事業をご利用いただき厚くお礼申し上げます。

いわみ中央地区本部では、持続可能な経営基盤を確立し収支改善を図るべく、「経営改善計画」を策定し取り組んでおります。

この改善策に基づき、次のとおり**事業拠点を再構築いたします。**

組合員・利用者の皆さまにはご不便をおかけいたしますが、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

支店の再編

① 店舗内店舗方式（※）による支店集約

令和 5 年 2 月 2 7 日（月）より、下表のとおり支店を移転・集約し、店舗内店舗方式で営業いたします。

（※）店舗内店舗（ブランチ・イン・ブランチ）とは、複数の店舗を母店となる店舗に集約して営業する方式

対象支店	移転・集約先
浜田東支店 弥栄支店	浜田支店
江津西支店	江津支店
雲城出張所 旭支店	金城支店

② 移転・集約後の営業

移転・集約後の旧支店は、下表のとおり「事業所」、「ふれあい店」として存置し、大幅に機能を縮小しながらも母店への取次や各種相談対応を行います。

A T Mは引き続き営業いたします。

対象支店	移転・集約後の名称	備考
弥栄支店	弥栄事業所	旧町村単位の事業拠点として存置します。
旭支店	旭事業所	
浜田東支店	浜田東ふれあい店	向こう 2 年間程度は存置する想定です。
江津西支店	江津西ふれあい店	
雲城出張所	雲城ふれあい店	

事業拠点再構築のお知らせ②

現事業所の駐在廃止

令和5年2月28日(火)をもちまして職員の駐在を終了し、令和5年3月1日(水)より完全ATM店舗として営業いたします。

対象事業所
上府事業所、江東事業所、長浜事業所、美川事業所、波佐事業所

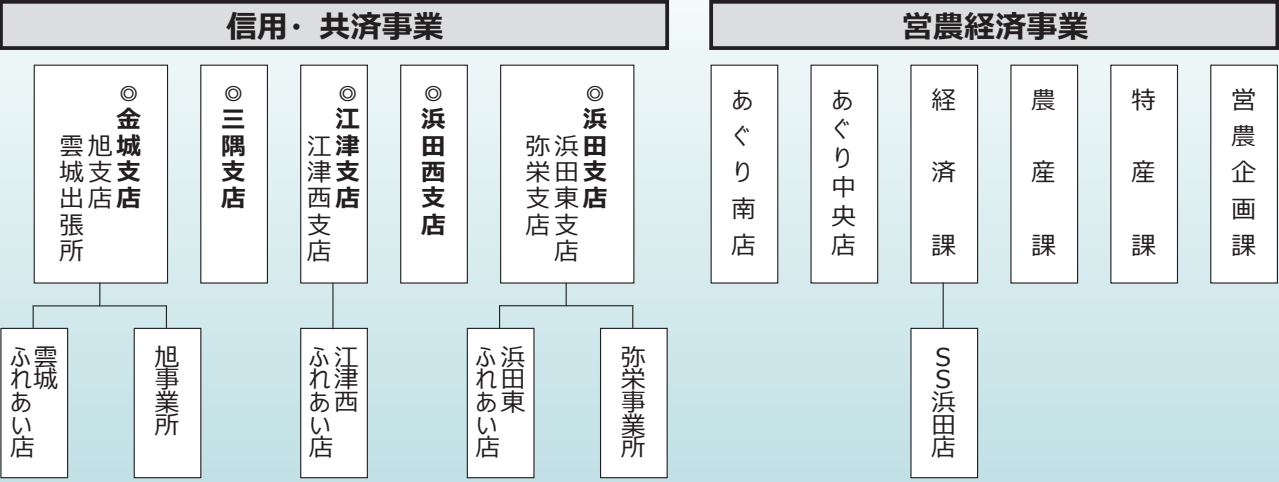
営農経済センターの集約

令和5年3月1日(水)より、下表のとおり営農経済センターを集約いたします。

現在のセンター	集約後の名称、所在地
浜田営農経済センター 江津営農経済センター 三隅営農経済センター 弥栄営農経済センター	あぐり中央店 (浜田市黒川町) ※地区本部、浜田支店に併設
金城営農経済センター 旭営農経済センター	あぐり南店 (浜田市金城町今福) ※金城支店に併設

集約後は、旧センター単位のエリアを担当する「営農経済渉外員」が組合員のもとへ出向きます。

令和5年3月1日以降の事業拠点の構成



- 現在お持ちの通帳・キャッシュカードなどは引き続きご利用いただけます。
- 支店の名称、支店番号、口座番号の変更はございません。
- 店舗移転、無人化後もATMコーナーは引き続きご利用いただけます。
- 支店の移転について、組合員・利用者の皆さまに対応いただく手続きはありません。

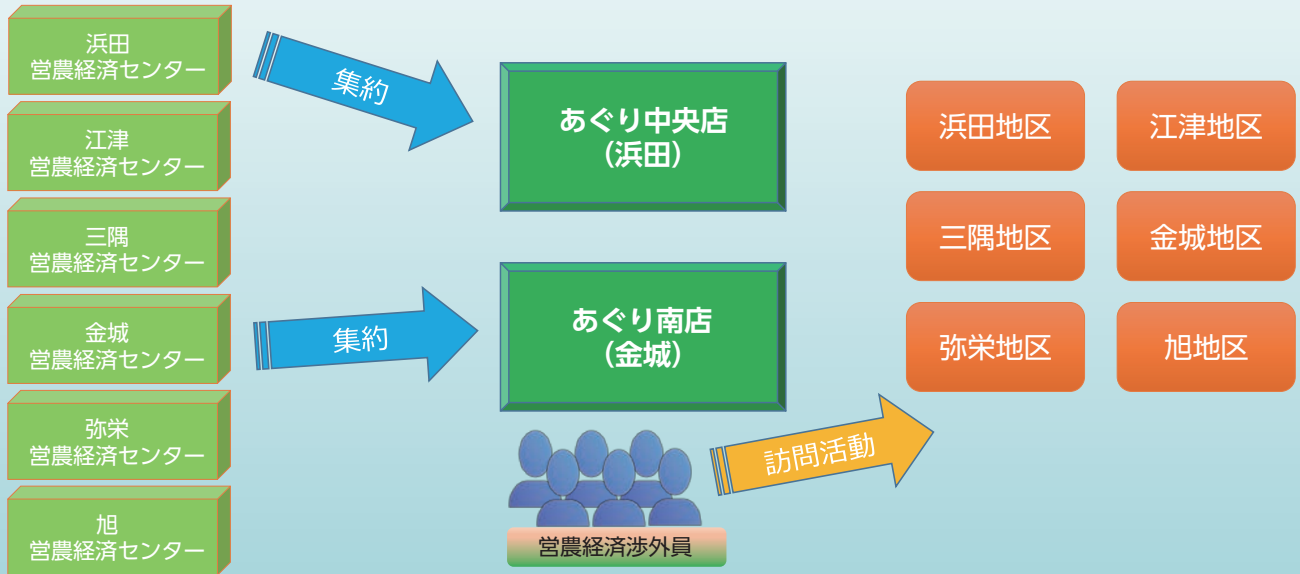
事業拠点再構築のお知らせ③

営農経済センターを2店舗に集約し、 営農経済渉外員を増員します

実施時期：令和5年3月1日（水）

【営農経済センター】

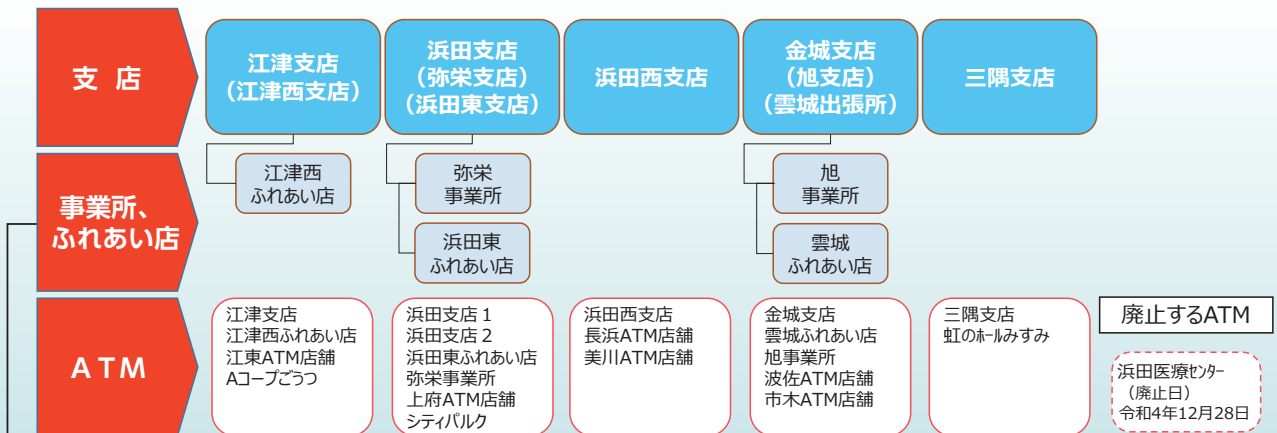
- ◎営農経済事業を行う現在の営農経済センター（6センター）を、あぐり中央店（浜田）とあぐり南店（金城）に集約します。
- ◎営農経済センターを配置していた6エリアごとに営農経済渉外員を配置します。



支店・ATMを再編します

実施時期：令和5年2月27日（月）

- 現在の事業所は、駐在を終了し、完全ATM店舗化（令和5年3月1日）
- 支店は、店舗内店舗（ランチインランチ）により5支店に集約し貯金量100億円超へ
- 集約された支店では、“事業所”、“ふれあい店”として母店への取次ぎ等の業務を継続
- 窓口業務の代替としてATMを存置（利用が少なければ廃止を検討）



- ATMの営業時間：現行と変更ありません。
・支店・事業所・ふれあい店は8:00～20:00（浜田支店とシティバルクは21:00まで）、その他は8:45～20:00となります。
- ATMでのお取引：入出金、振込、定期貯金預入、両替、通帳記帳、通帳繰越

事業所・ふれあい店営業時間について

営業時間／平日 9時～16時

※時間外の対応として、大型ポストを設置。

※昼休業時間を導入します。（昼休業）11時半～12時半

※設置しているATMの営業時間に変更はございません。昼休業中もご利用いただけます。

特殊詐欺防ぎ感謝状 浜田支店

浜田支店の河上辰士課長と永見建職員が来店客の特殊詐欺被害を未然に防止したとして、浜田警察署から感謝状をいただきました。

10月中旬に来店した60代男性が「ケイタイ電話の料金を振り込めば後でお金が返ってくる」との話を窓口でされたため特殊詐欺であると気付き、お客様と話をして被害を未然に防止しました。被害を防止できたことについて河上課長は「来店されるお客様とのコミュニケーションの大切さを改めて感じた」と話しました。

なお、浜田支店は浜田警察署から「特殊詐欺等被害防止モデル店」の認定を受けました。山根庄二支店長は「日々職員が特殊詐欺への意識を持って業務にあたっていているので、今回の判断と行動が出来た。今後も職員一丸となって特殊詐欺防止の意識をもって業務を行う」と語りました。



笑顔で親睦 JA女性部役職員 ふれあい交流グラウンド・ゴルフ



12月3日、JA女性部と役員との親睦を深めるため、グラウンド・ゴルフを行いました。当日は女性部と役員でペアを組み、1つのボールを交互に打ってプレーする特別ルールで楽しみました。寒い中スタートしましたが、皆さん楽しくプレーされ笑顔いっぱいふれあい交流となりました。

初めての試みでしたが、女性部員さんから「親しみやすい職員さんだから、うちの支店の窓口担当になって欲しいな」や職員から「楽しかったから、今回を1回目としてまたやろう」など、うれしい言葉をいただき親睦深まるグラウンドゴルフとなり、優勝は金城チームとなりました。



日頃の感謝を込めて 来店感謝デー



12月に各支店で来店感謝デーを行いました。組合員・利用者みなさんに日頃の感謝を込めて支店ごとにイベントを準備し来店者をもてなしました。女性部さんが作ったお餅を配ったり、お菓子を配ったりして女性部活動をPRしたり、支店前で野菜の販売をしたりと来店したみなさんはサプライズのおもてなしに笑顔で受け取っておられました。支店職員もこの日はお揃いの上着を着てガラポン抽選会をしたりと忙しいながらも笑顔あふれる1日となりました。



家の光記事活用体験発表で 最優秀賞を受賞

12月1日、出雲市ラピタにて第23回島根県家の光大会が開催されました。

家の光記事活用体験発表では、いわみ中央地区本部代表で江津女性部平川節美部長が「ようこそ阿刀の里へ 広がる町の仲間作り」と題して発表し見事最優秀賞に選ばれました。

当日は緊張されながらも、自らが住む江津市跡市町から店がなくなったことをきっかけに女性部が立ち上げた店舗「阿刀の里」を拠点に、家の光記事を活用して地域の特産「シャインマスカット」の大幅を商品化するなど、地域や仲間作りについて発表されました。

平川部長は令和5年2月に京都で開催される全国家の光大会で島根県代表として発表されます。



JASしまね「いわみ中央ゴルフ友の会」 チャリティーコンペで地域貢献!

11月17日に金城カントリークラブにて、JASしまね「いわみ中央ゴルフ友の会」チャリティーコンペが開催されました。毎年、この時期のコンペはチャリティーコンペと銘打って開催されており、この日は参加者24名の全ての方から多くの寄付金が寄せられました。

なお、集まりました寄付金は11月30日に、JASゴルフ友の会の前本征生会長と和田守正則統括支店長が、浜田市社会福祉協議会を尋ね、同協議会の中島良二会長へ贈呈しました。

中島会長は、「JASゴルフ友の会のお気持ちに深く感謝する。浜田市の社会福祉事業に役立てたい」と話されました。

今後、JASしまね「いわみ中央ゴルフ友の会」では地域貢献活動を続けていきます。



きんさいトピックス

大盛況の焼き芋イベント

きんさい市場黒川店では、12月2日に生産者の皆様と一緒に焼き芋販売を行いました。合計約50kgのサツマイモを生産者にご用意いただき、2台の焼き芋機をフル稼働させましたが、販売に追いつかず多くの方にお待ちいただくことになりました。それでも「帰って食べたなら美味しかったのでまた買いたい来た」と言われる方もおられるほど、甘くしっとりした味わいで購入された方には満足いただけたと思います。産直市場は「生産者」と「消費者」をつなぐ場として、今後も交流イベントを企画していきますので、ぜひご来店ください。



ほっかほっか



ようこそいわみ中央へ 農場視察で交流

12月5日、いわみ中央女性部（徳田マスエ部長）は出雲女性部の皆さんと一緒に、いわみ中央管内にあるT.C浜田農場を視察しました。

J.Aしまねびより10月号に掲載された、T.C浜田農場の清水祐貴さんの記事を見た出雲女性部から視察希望があり、今回の交流となりました。当日はトマトのハウスで清水

さんからトマト栽培の説明を聞いた後、トマトに関するたくさんさんの質問が参加したみなさんからあり、1つ1つ清水さんが回答され有意義な時間となりました。その後場所を変え、出雲女性部の皆さんといわみ中央女性部員との交流会をし、楽しく絆を深めました。



芦谷支部 寄せ植え教室

12月13日、三隅女性部芦谷支部（中田孝子支部長）は毎年恒例のお正月用寄せ植え教室を芦谷集会所で開催しました。講師に「花シヨップふくもと」の三上貴子、福本理恵両先生を迎え、さくら草、葉ボタン、シクラメンなど7種類の花を彩りや配置を考えながらそれぞれ植えていきました。

先生より「花カラ摘みと水やりの管理をしてあげるだけで春まで十分楽しめますよ」と教えていただくと「以前植えた寄せ植えも毎年咲いてくれるのよ」「玄関に寄せ植えがひとつあるだけでとても明るくなるから嬉しいわ」など、皆さんおしゃべりしながら楽しそうに作業されました。



三隅ミニグループ周布地早乙女会 お正月準備はバッチリ!

三隅町のミニグループ周布地早乙女会は周布地集会所で、11月27日に「おせち料理教室」、12月3日に「しめ縄作り教室」を開催しました。

おせち料理教室は家の光12月号などを参考に7品目を作りました。「軽やかにできるおせち」をテーマにキンパ風のり巻きやミックスナッツを使った田作りなど「若い方にも好まれるメニューね」「簡単に早くできていいわね」など楽しい料理教室となりました。しめ縄作り教室は「みはし地域まちづくりネットワークリリカサロン」の畑岡律香先生とスタッフの原田さんを講師に迎えて挑戦しました。先生が青刈りして作ったこだわりの藁を編み上げていく作業では、「この稲の品種は何ですか」「やはりモチの藁は丈が長くていいね」などの栽培に関する話題



がのぼったり、藁を縛う手際の良さはさすが米どころ井野の方々と感心させられました。さらにドライフラワーなどで華やかに仕上がったしめ縄に「1年中飾っておきたいわ」「素敵なお正月飾りになってうれい」とみなさん満足そうに微笑んでいらっしやいました。すでにおせち料理にしめ縄飾りと、お正月の準備はバッチリの周布地早乙女会のみなさんです。

12月の講座『しめ縄作り』

12月1日、JA女子大学7期生は当地区本部ふれあいホールにて「しめ飾り」に挑戦しました。

講師に「みはし地域まちづくりネットワーク リリカサロン」の畑岡律香先生とスタッフ2名を迎えご指導いただきました。



はじめに、穂先を揃えた藁の束を強力なクリップで机に固定し縄状に編み上げていきます。

従来の縄を綯(な)う方法ではなくミサンガを編むような新しいスタイルの作り方に「こんな方法で縄が作れるんですね!」と驚いたり、「ねじるのに少し力があるけど、手軽に編めて楽しい」

などの声が聞かれ、みなさん夢中になって編み上げていきました。

編んだ縄をリース状にしてドライフラワーや水引、アーティフィシャルフラワーなどを使って華やかに仕上げました。



今回使用した藁は金城町の田んぼで先生が自ら栽培した稲を青刈りし、陰干したこだわりのもので、きれいな青みと香りがより一層作品を引き立てていました。



今年の年末はそれぞれオリジナルのしめ縄を玄関に飾って新年を迎えられるのがとても楽しみです。



いわみ中央地区本部 ローンセンター

ローン相談開催中

毎月 第2・第4土曜日

2月 11日・25日

受付時間 / 9:30~16:00

お問い合わせ

JAしまね いわみ中央統括支店ローンセンター
〒697-0024 島根県浜田市黒川町3741

Tel (0855) 22-8816 Fax (0855) 22-0203

いわみ中央地区本部1階
ローンセンターでお待ちしております!!



©よりぞう

地域の話題

2022年春、展示施設をリニューアルしていますので、以前訪問された方もお近くに来られまして足運んでみて下さい。事前に予約をいただければ、発電所内の見学も出来ます。



三隅発電所ふれあいホール

子どもから大人まで楽しみながら、火力発電などについて理解を深めることが出来る場所、浜田市三隅町にあります『三隅発電所ふれあいホール』を紹介します。

三隅町には1998年、国内最大級の石炭火力発電所が造られ、その歴史も20年を超えました。今では設備も増設され、中国地方最大総合出力200万kWとなり、皆さんの電気を安定的にお届けするために欠かせない発電所となりました。最近では電気代が値上がりし、不安も多いですが、地元にある発電所へ目を向け電気に興味を持って

カーボンニュートラルが話題にあがるなか、なぜ今、石炭火力発電所なのか？石炭火力発電所を選ぶには1つのエネルギーに偏らず、複数を組み合わせる『エネルギーミックス』という考え方があります。今後発電の課題とされるCO₂排出量も新しい発電方式の導入により削減に進んでいます。それは30年後の未来、カーボンフリー燃料である水素・アンモニアの導入や、地球環境に配慮した電力の実現に向けて、段階的なシフトにつながるのです。



三隅発電所ふれあいホール

開館時間 9:30~17:00

休館日 毎週月曜日(祝日の場合は翌日)

年末年始(12月29日~1月3日)

税務相談会

開催日	時間	場所
2月3日(金)	午前9時から 午後5時まで	いわみ中央地区本部 1階 応接室
2月10日(金)		
2月17日(金)		
2月24日(金)		
3月3日(金)		

メガネ・補聴器巡回スケジュール

開催日	時間	会場
2月6日(月)	午前9時から午後1時まで	美川事業所
2月7日(火)	午前9時から午後1時まで	雲城出張所
2月8日(水)	午前9時から午後1時まで	波佐事業所
2月9日(木)	午前9時から午後12時まで	Aコープやさか前
2月10日(金)	午前9時から午後1時まで	Aコープあさひ前
2月20日(月)	午前9時から午後1時まで	江津西支店
2月21日(火)	午前9時から午後12時まで	旭 旧市木事業所前
2月22日(水)	午前9時から午後5時まで	三隅支店
2月23日(木)	午前9時から午後3時まで	三隅支店
2月24日(金)	午前9時から午後1時まで	金城支店

ご自身・ご家族のメガネ調整、補聴器点検等気軽にお立ち寄り下さい!!

サプライズ



金城町七条
梅岡 美雁 さん

弥栄町高内
山崎 忠博 さん

(12P新年の営農クイズ解答)

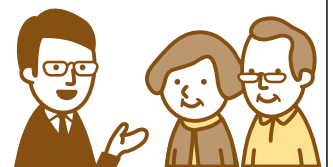
1 → ② / 2 → ③ 3 → ③ 4 → ③ 5 → ① 6 → ② 7 → ③ 8 → ① 9 → ①

10 → ②

年金相談会

2月3日(金) 三隅支店
午後3時から午後7時まで

2月9日(木) 浜田支店
午後3時から午後7時まで



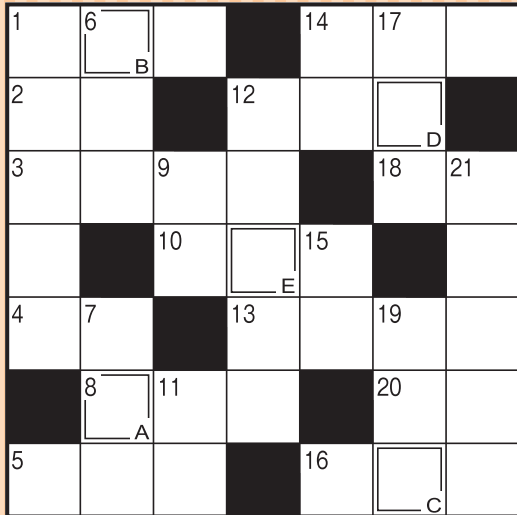


CrossWord Puzzle

クロスワードパズル

二重マスの文字をA～Eの順に並べてできる言葉は何でしょうか？

出題●ニコリ



答え

A	B	C	D	E
---	---	---	---	---

タテのカギ

- 2月の誕生石・アメシストは紫色の——です
- 刻みたばこを詰めて吸う道具
- Lが大ならMは
- こうなった——を知りたいなあ
- 暖炉にくべます
- 3度の食事以外に食べるもの
- バレンタインデーに実らせる人もいます
- 囲碁や将棋の指し手の記録
- 百貨店の——ガイドで目当ての売り場を探した
- 昆布と——節でだしを取った
- 例年2月4日ごろ。暦の上ではこの日から春です

ヨコのカギ

- ウィンタースポーツの代表格
- 旧国名の1つ。現在の三重県の大部分
- お吸い物などを入れる器
- 鬼は外、福は——
- 掃除道具の1つ。魔女がまたがれば飛べるかも？
- 車のフロントガラスに付くとガラガラして厄介です
- 旅先で眺めることもあります
- もむと温くなるタイプもあります
- 遅い時間まで寝ずにいること
- 仁徳天皇陵もこの1つ
- 水分補給に役立つ——飲料は、電解質を加えてあります
- 働き者だといわれる昆虫
- 天ぷらを天——に漬けて食べた



応募要項



●応募方法

ハガキに、答え、住所、氏名、年齢、電話番号、本誌に関するご意見・ご感想を記入して、下記宛先にお送りください。

●賞品

正解者の中から抽選で40名（JAしまね全体）の方に「農協全国商品券」をお贈りします。

●当選者発表

賞品の発送をもってかえさせていただきます。

●宛先・締切

〒697-0024 浜田市黒川町3741番地
JAしまね いわみ中央地区本部 ふれあい課 「クイズ」係
2023年2月3日（金）（当日消印有効）

◆先月号の答え◆

「フリンデ」



俳句の広場

選句者「白魚火」編集長・副主宰
安食彰彦先生

最優秀賞

紙幣みな同じ向きして良夜かな

出雲市 北村 功様

優秀賞

隣家には遊具増えたり秋の空

出雲市 加地 良子様

大根の葉ごと土ごと届けられ

浜田市 三沢 孝子様

只今と元気な声の息白し

出雲市 藤江 堯様

佳作

ひとほうる残すゴルフに来し時雨 邑南町 三宅伊知枝様
暮の秋更地となりし叔母の家 安来市 斎藤美重子様
大根を干したる小屋は既になく 出雲市 森脇 英徳様
転がして置きし南瓜に初明かり 津和野町 田中とし様
車窓より初冠雪のかがやきに 出雲市 小豆澤典子様

「家の光」でも俳句・川柳・詩・短歌を毎月募集しています。こちらへもぜひご応募ください！

「家の光」2月号 定価629円
ご購入はお近くのJAへお問合せください。



JAしまねびより、皆様からの俳句・川柳を募集しています。締切は毎月14日必着です。（最優秀賞1句、優秀賞3句、佳作5句）2月号は川柳を募集します。1回のご応募につきお一人様3句までご応募いただけます。

応募方法

俳句または川柳、住所、氏名、年齢、電話番号を記入のうえ、ハガキ、FAX、Eメールのいずれかでご応募ください。
※応募作品は自作で未発表のものに限ります。
※応募作品の一切の権利は、JAしまねに帰属するものとします。
※受賞作品は地域名、氏名（または雅号）を掲載します。

あて先

〒690-0887 松江市殿町19-1
JAしまね ふれあい福祉課
「俳句の広場係」または「川柳の広場係」
FAX：0852-67-7708
Eメール：fureai.hon@ja-shimane.gr.jp

最優秀賞、優秀賞の4名様には「農協全国商品券1,000円分」をお贈りします。



・お預かりした個人情報、プレゼントの抽選・発送のみに使用し、その他の目的で利用することはありません。

農業用自動車をお持ちのみなさまへ JA共済



トラクター

「農業用安全自動車割引」

JA共済
オリジナル



田植機

9%

割引!

自動車
共済掛金



農業用薬剤散布車

- コンバイン
- 野菜移植機
- 収穫機 など

農業用自動車の事故 きちんと備えていますか？

圃場を走行中にあやまって他人をはねてケガをさせてしまった

農作業中に横転！運転手が下敷きになりケガをさせてしまった

農機具格納庫からトラクターが盗難された！



相手方への損害



ご自身・ご家族への損害



お車に対する損害

! 特にトラクター、田植機、コンバイン等の農耕作業用小型特殊自動車は、自賠責共済(保険)に加入することができないため、もしもの時、**高額の損害賠償責任を負うことになる可能性もあります!**
※農耕作業用の自動車で35km/h以上の走行速度可能な機種等は、自賠責の加入が必要となります。

農業用安全自動車割引の適用条件

対象車種	農耕作業用大型特殊自動車、農耕作業用小型特殊自動車
対象型式	国立研究開発法人農業食品産業技術総合研究機構が行う農業機械の安全性検査に合格した型式
対象担保	車両、対人、対物、傷害定額、人身傷害
割引率	9% (担保共通)

その他割引条件

- 特別割増・割引契約(資格審査契約は除く)でないこと
- 型式が不明でないこと
- 共済始期日が「合格が公表される月に応じてJA共済連が設定する割引適用開始日」以降であること

この資料は概要を説明したものです。詳細につきましては、「重要事項説明書(契約概要・注意喚起情報)」および「ご契約のしおり・約款」により必ずご確認ください。

詳しくは、お近くの支店窓口、担当者まで、ぜひお声がけください!

No.22320320214

例 共済掛金 **27,890円** ※令和5年1月現在の共済掛金です。

契約条件 ●農耕作業用小型特殊自動車、一時払い、共済期間12か月、車両(全損害400万円、免責金額1万円)、対人(無制限)、対物(無制限、免責金額0万円)、傷害定額(1,000万円、倍額型)、人身傷害(5,000万円)、等級:20等級(長期優良契約割引なし)、各種特約なし

組合員の皆様へ



株式会社HALムスイ
代表取締役 脇本 芳朗

ムスイ料理講習会活動の中止についてのご案内

平素は、格別のご厚情を賜り、誠にありがとうございます。

さてこの度、弊社が実施してまいりました料理講習会につきまして、誠に不本意ながら本年1月より、コロナ感染拡大の影響を考慮し、中止させていただきます。

また併せて営業活動の拠点を本社(広島県広島市)に移管し、出雲営業所を閉鎖することとなりました。

皆様には、長きにわたり大変お世話になり、心より感謝申し上げますとともに諸般の事情をご理解いただきご了承のほど宜しくお願い申し上げます。

尚今後も無水商品のご注文及び修理などにつきましては、本社(広島市)にて継続して行いますので、引き続き無水商品をご愛顧いただきますよう重ねてお願い申し上げます。



* 白ネギと海老のクリームスープパスタ



コメント

・今が旬の白ネギには風邪の予防や症状を和らげる効果があり、この季節に欠かせない食材です。
・スパゲティの茹で時間にソースを作って、あとは絡めるだけ！簡単でお手軽なスパゲティです。

アレンジ

・海老の代わりにシーフードミックスを使っても美味しくできます。
・トマトペーストを加えると、トマトクリームパスタになります。
・白ネギを玉ねぎ、キャベツ、ほうれん草、小松菜、あすっこ等の野菜に替えてもOK！

材料 (4人分)

スパゲティ……………400g
白ネギ……………4本
冷凍ボイル海老……………200g
バター……………40g
小麦粉……………大さじ4
牛乳……………1ℓ
顆粒コンソメ……………小さじ4
塩……………小さじ1
粗挽き黒胡椒……………適量

作り方

- ①白ネギは1cm幅の斜め切りにし、葉先は別にしておく。海老は解凍して背ワタを取り除く。
- ②鍋にお湯をたっぷり沸かし、スパゲティを入れてパッケージの表示通りに茹でてザルにあげ、水気をきる。
- ③大きめのフライパンにバターを入れて火にかけ、溶けてきたら葉先は残して①を加えて炒める。
- ④一度火を切り、海老だけを取り出す。
- ⑤小麦粉を振り入れ、ひと混ぜしたら牛乳とコンソメ、塩を加え粉っぽさがなくなったら、再び火にかけ、トロミがつくまで混ぜながら煮る。
- ⑥⑤に取り出しておいた海老と白ネギの葉先を加えひと混ぜする。
- ⑦茹で上がったスパゲティを加え、全体が馴染むまで混ぜ合わせる。
- ⑧皿に盛り、粗挽き黒胡椒を振ったら完成。

材料 (4人分)

木綿豆腐……………1丁
白ネギ……………2本
生姜……………ひとかけ
ごま油……………大さじ1
水……………100cc
オイスターソース…大さじ1
しょうゆ……………大さじ1
砂糖……………小さじ1
鶏がらスープ(顆粒)…小さじ1
片栗粉……………小さじ1
糸唐辛子……………適量

作り方

- ①白ネギは1cm幅の斜め切りにする。生姜はみじん切りにする。
- ②ボウルにAを入れて混ぜ合わせ、そこに①も入れて漬けておく。
- ③フライパンにごま油を中火で熱し、半分厚さに切った豆腐を並べ入れる。
- ④焦げ目がついたら、スプーンで適当な大きさに切り、裏返して両面焼く。
- ⑤②を入れてかき混ぜて、蓋をせずに煮込み、汁気が少なくなったら火を止める。
- ⑥皿に盛り、糸唐辛子をのせたら完成。

コメント

・白ネギは、煮ることで甘みが増し、トロっととろける食感も楽しめます。
・あつという間にできる一品です！ネギ特有の強い香り成分には疲労回復効果があり、体調を崩した時にもおすすめです。

* 白ネギ豆腐



アレンジ

・豚肉や鶏肉と一緒に焼いて加え、ボリュームアップ！
・ご飯にかけたり、めん類に絡めたりすることで、バランスのよい一品料理になります。

JA島根厚生連

健康散歩

クリスマス・年末年始には、家族や親戚が集まり、楽しく食事をする機会が増えると思います。伝統的な食事に加え、子どもから大人まで、年代・性別を問わず好まれるカレーもメニューにあがるご家庭が多いのではないのでしょうか。カレーは日本の国民食と言われていますが、日本には明治の初めに西洋料理として上陸しました。日本人の主食であるごはんと一緒に組み合わせて食べられることから広まったと言われています。

カレーは美味しいだけでなく、健康に良いパワーも秘めています。カレーは複数のスパイスから作られており、漢方薬として使われるものも多く、特にインド発祥のスパイスカレーは食べる漢方薬とも言われています。カレーに使われるスパイスには共通して発汗、消化促進作用、抗酸化作用があります。寒い冬には体を温める効果があり、暑い夏には夏バテで疲れた体を助けてくれます。

カレーには油脂が多く含まれていますが、最近ではカロリー50%オフの物も発売されています。具材に野菜やキノコ類、豆類をたくさん入れることで食物繊維も多く摂れるようになります。食べすぎに注意しながら、バランスよく美味しく食べましょう。

秘められたカレーのパワー

最近は様々なスパイスが購入できるので、カレールーではなく、カレー粉やスパイスを使って家族や自分好みのカレーを作ってみるのも楽しいのではないのでしょうか。

カレーに含まれる代表的なスパイスは、ターメリック(うこん)、コリアンダー(香菜)、クミン(馬芹)などがあげられます。

- ・ターメリック(うこん): 鮮やかな黄色が特徴。抗酸化作用や抗がん作用、肝機能促進作用
- ・コリアンダー(香菜): レモンに似た爽やかな香り。パクチー(香菜)の種子。消化促進作用
- ・クミン(馬芹): カレーの匂いと感じるのはクミンの香り。抗酸化作用、消化促進作用

さらに寒い冬にお勧めなスパイスはジンジャー(生姜)です。体を温める効果があると言われており、カレー粉やカレールーの中にも含まれていますが、具材を炒める時や、カレーの仕上げにすりおろし生姜を入れると香りも良くなり、ピリッとした辛味も楽しめますので試してみてください。

消化を助け、新陳代謝を高めてくれるカレーパワーで寒い冬を乗り切りましょう！

